

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3069120号

(U3069120)

(45) 発行日 平成12年6月6日(2000.6.6)

(24) 登録日 平成12年3月8日(2000.3.8)

(51) Int.Cl.⁷

A 4 1 D 1/06

識別記号

F I

A 4 1 D 1/06

B

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 7 頁)

(21) 出願番号 実願平11-9861

(22) 出願日 平成11年11月19日(1999.11.19)

(73) 実用新案権者 500003947

株式会社ロンチェスター

岐阜県各務原市那加織田町195番地

(72) 考案者 春日 真一

岐阜県各務原市那加織田町195番地 株式

会社ロンチェスター内

(74) 代理人 100076945

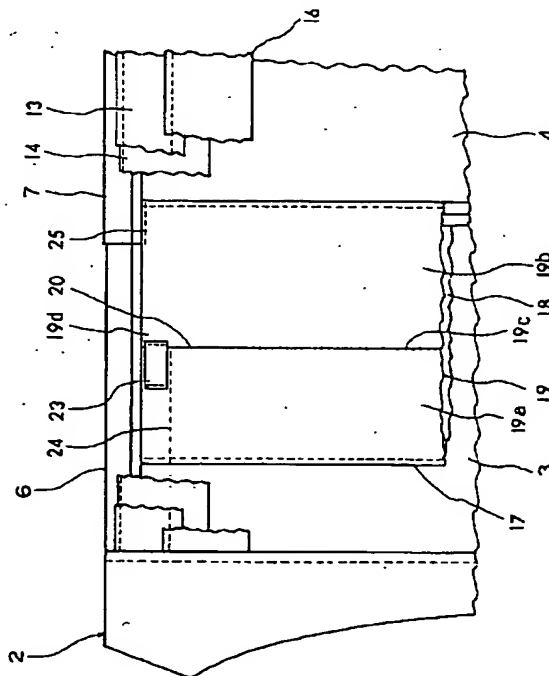
弁理士 六川 昭勝

(54) 【考案の名称】 ズボン等のウエスト伸縮構造

(57) 【要約】

【課題】 着用者のウエストの寸法に応じてウエスト部を伸縮させると共に、簡単な構造でデザイン的にも良いズボン等のウエスト伸縮構造とする。

【解決手段】 前側表地19aと後側表地19bの表地19と、一枚の裏地18からなるポケット17を設けたズボン等のポケット17上部のウエスト部を、弾性材による伸縮手段にて伸縮可能としたズボン等において、前側表地19aと後側表地19bを中央で縫着し、上部に未縫着部15による切込部20を設け後側表地19bに自由片19dを形成し、ポケット17の裏地18上部と前側表地19a上部を前ウエスト6下折曲部に、後側表地19b上部外寄りの一部を後ウエスト7端部下方となる位置に縫着し自由片19dを未縫着にて自由とし、弾性帯からなる引張材23一方を前側表地19a上部に、他方を後側表地19bの自由片19dに、常に自由片19dを引張るよう縫着している。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 前側表地と後側表地の表地と、一枚の裏地からなるポケットを設けたズボン等のポケット上部のウエスト部を、弾性材による伸縮具にてウエスト部を伸縮可能としたズボン等において、前側表地と後側表地を中央で縫着し、上部に未縫着による切込部を設け後側表地に自由片を形成したことを特徴とするズボン等のウエスト伸縮構造。

【請求項2】 ポケットの裏地上部と前側表地上部を前ウエスト下折曲部に、後側表地上部外寄りの一部を後ウエスト端部下方となる位置に縫着し自由片を未縫着にて自由とした請求項1記載のズボン等のウエスト伸縮構造。

【請求項3】 ポケットにおいて弾性帯からなる引張材一方を前側表地上部に、他方を後側表地の自由片に、常に自由片を引張るよう縫着した請求項1記載のズボン等のウエスト伸縮構造。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案実施例の一部を省略した正面図である。

【図2】 図1のA-A断面拡大図である。

【図3】 本考案実施例主要部の一部を省略した正面図である。

【図4】 本考案実施例を着用した時の主要部の状態図である。

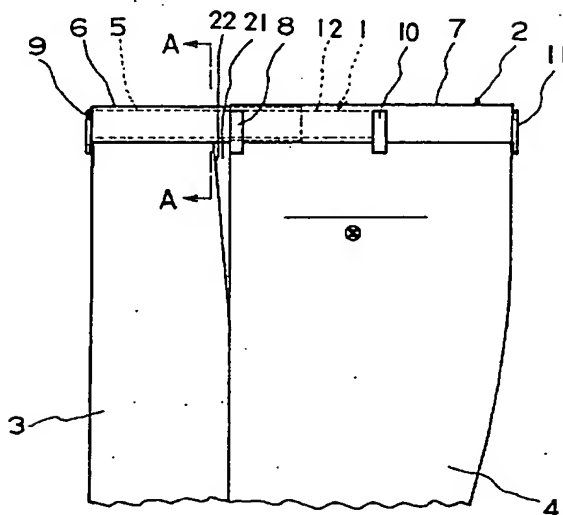
【図5】 本考案実施例を着用した時の主要部の部分拡大状態斜視図である。

【符号の説明】

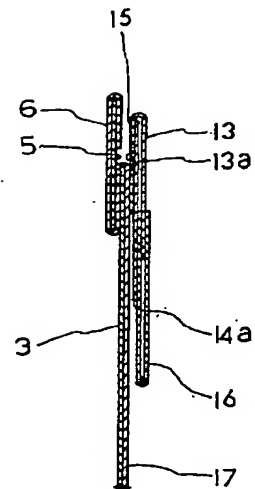
- 1 伸縮具
2 ズボン

- 3 前身頃
4 後身頃
5 芯材
6 前ウエスト
7 後ウエスト
8 第2ループ
9 第1ループ
10 第3ループ
11 第4ループ
12 弾性材
13 腰裏抑地
13a 折曲部
14 腰裏芯材
14a 腰裏弾性材
15 未縫着部
16 下抑地
17 ポケット
18 裏地
19 表地
19a 前側表地
19b 後側表地
19c 縫着部
19d 自由片
20 切込部
21 ポケット口部
22 ポケット受部
23 引張材
24 縫着部
25 縫着部

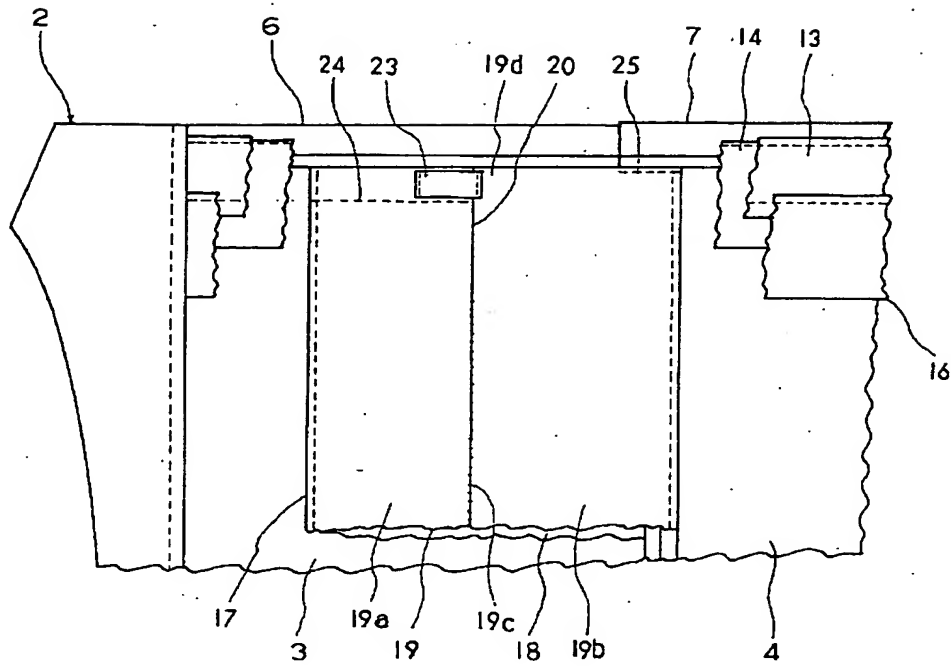
【図1】



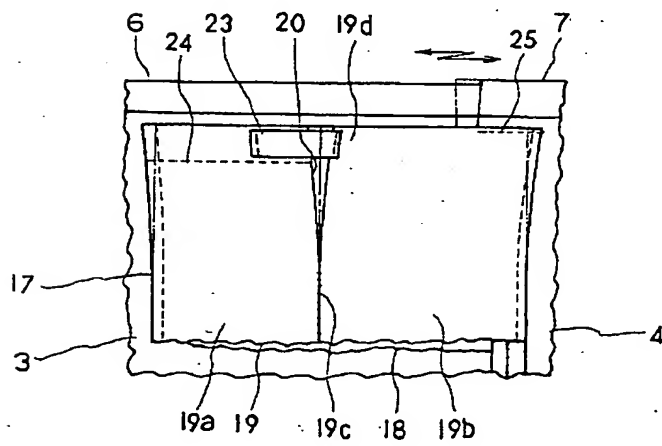
【図2】



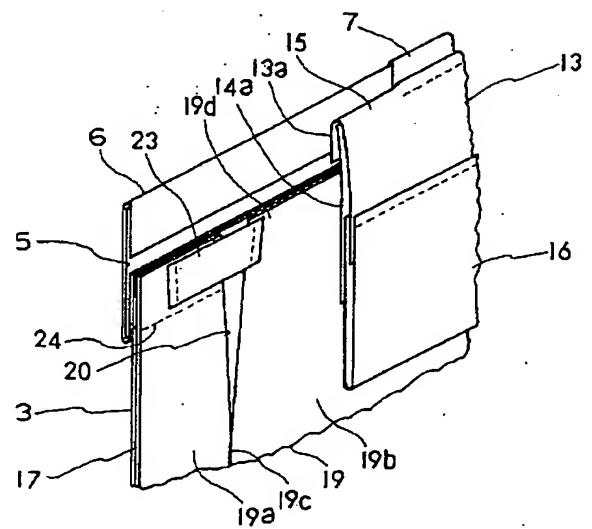
【圖 3】



【圖 4】



【圖 5】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

本発明は、ウエスト部分にポケットを備えたズボンやスカート等（以下単にズボン等という）のウエスト伸縮構造に関するものである。

【0002】

【従来技術】

通常既製品のズボン等は、身長や体形などの異なる着用者に幅広く合わせる事が出来るようウエスト部の寸法を所定の間隔で設定して製造されている。

それ故に、着用者は自分のウエスト寸法に近いものを選択購入し、自己のウエスト寸法に修正したりして着用している。

しかしズボン等のウエスト寸法を修正するには、修正作業が必要であり着用者自らが修正することは面倒であると共に時間が掛かり、仮に修正出来たとしても着用しがたい状態に出来上がってしまう。

このため修正には修正業者に依頼するが費用が高く且つ時間も掛かるため、ウエスト寸法を修正しなくても良いように、ウエストの一部分を弾性材で形成して伸縮を可能とするウエスト伸縮構造がある。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

しかし、このような従来のズボン等のウエスト伸縮構造は、着用者のウエストの寸法に応じてウエスト部を伸縮させ快適に着用することが出来るが、ウエスト部の横側等に備えられた弾性材が露呈して見栄えが悪く、又弾性材が縮んだ状態では、弾性材の下側の布地にしわが生じたりしてデザインの良好なものではなくウエスト伸縮構造上非常に不都合を感じていた。

【0004】

【課題を解決するための手段】

本考案はこのような不都合を解決するもので、着用者のウエストの寸法に応じてウエスト部を伸縮させると共に、簡単な構造でデザインの良好なズボン等のウエスト伸縮構造を提供せんとするものである。

【0005】

略中央で分割した前側表地と後側表地の表地と、一枚の裏地からなるポケットを設けたズボン等のポケット上部のウエスト部を、弾性材による伸縮具にてウエスト部を縮可能としたズボン等において、

分割した前側表地と後側表地を中央で縫着し、上部に未縫着による切込部を設け後側表地に自由片を形成し、

ポケットの裏地上部と前側表地上部を前ウエスト下折曲部に、後側表地上部外寄りの一部を後ウエスト端部下方となる位置に縫着し自由片を未縫着にて自由とし、

弾性帯からなる引張材一方を前側表地上部に、他方を後側表地の自由片に、常に自由片を引張るよう縫着している。

【0006】

【作用】

使用によって着用者のウエスト寸法に合わせてズボン等のウエストが伸縮具にて伸び、ポケットも前方に引張られる。

ポケットが前方に引張られる時、切込部が開きV字状となりポケット自体に支障を起こさずウエストの伸縮に対応する。

この時切込部によって形成されている自由片は引張材にて引張られているため垂れ下ることがなく、外部から見ても支障なく気持ち良く着用することが出来る。

【0007】

【実施の形態】

以下本発明の一実施例を図面について説明する。

図中1は伸縮具全体を示し、2は前身頃3と後身頃4と前身頃3及び後身頃4上部に折り曲げにて芯材5を包み込んだ前ウエスト6と下り曲げにて芯材5を包み込んだ後ウエスト7を設けると共に、第2ループ8を後ウエスト7の両先端外側に、第1ループ9を前ウエスト6端部側に第3ループ10を後ウエスト7内寄りに、又第4ループ11を後ウエスト7中央にそれぞれ設けてなるズボンであって、後ウエスト7両端は芯材5を除いて筒状を形成し、ゴムの帯体からなる弾性

材12を前ウエスト6先端に設け、後ウエスト7内に前ウエスト6を挿入し弾性材12先端を後ベルト7内で縫着等にて固定し、前ウエスト6と後ウエスト7の伸縮を可能としている。

【0008】

13は長手に沿って折り曲げた折曲部13aを設けた腰裏抑地であって、一部を弾性材の腰裏弾性材14aとした腰裏芯材14の上側を外腰裏抑地13にて挟み、腰裏弾性材14aを第1ループ9と第3ループ10間になるよう前ウエスト6と後ウエスト7の上部折曲部に縫着すると共に、後腰部7先端より前腰部6側に縫着をしない未縫着部15を設けている。

16は下抑地であって、腰裏抑地13の下側を折り曲げにて挟み前記腰裏芯材14と腰裏弾性材14aと共に縫着している。

【0009】

17は裏地18と前側表地19a及び後側表地19bの表地19とからなるポケットであって、前側表地19aと後側表地19bを縫着し、縫着部19cが略中央となるようにして表地19を形成するが、縫着部19cは途中までとし上方を未縫着として切込部20を設けた状態とし、裏地18上部を前ウエスト6の下折曲部に縫着すると共に、前側表地19a上部を裏地18と前ウエスト6の下折曲部に縫着部24で、又後側表地19b上部の外側寄りの一部を後ウエスト7両端の下方となる位置に縫着部25で縫着し、切込部20による後側表地19bの自由片19dを自由とし、裏地18側部を前身頃3のポケット口部21に又後側表地29b側部を後身頃4と自由片19dを後身頃4に一方の側部を縫着したポケット受部22の他方の側部にそれぞれ縫着してポケット17を設けている。

【0010】

23は弾性帯からなる引張材であって、一方を前側表地19a上部に、他方を後側表地19bの自由片19d上部に常に自由片19dを引っ張るように縫着し、自由片19dの垂れ下がりを防ぐようにしている。

【0011】

使用すると、着用者のウエスト寸法に合わせて弾性材12と腰裏弾性材14aによって前ウエスト6が前方に伸びる。

するとポケット17も前方向に引っ張られるが、裏地18は前ウエスト6と一緒に移動すると共に、前側表地19aも切込部20を設けているため切込部20がV字状に開いて前ウエスト6と一緒に移動する。

このために外部から見ても何の障害もなく気持ち良く着用することが出来る。着用が終わると、弾性材12にて元の状態に戻るが、後側表地19bの自由片19dは常に引張材23にて引っ張られているため垂れ下ることがない。

【0012】

【考案の効果】

上述の如く本考案の請求項1では、未縫着の切り込み部を設けたことによって、ポケット上部の移動をウエストの移動に相応させることが出来るため、弾性材による伸縮具にて伸縮を可能としたどのようなズボン等にも使用することが出来る。

請求項2では、自由片を未縫着として自由とすることによってポケット上部の移動をより確実にしウエストの移動に対応させることが出来る。

請求項3では、自由片の垂れ下がりを防ぎ外部から見ても何の支障もない状態とし、気持ち良く着用することが出来る等多くの特長があり実用上非常に優れた考案である。